

令和5年度 第2回 学校運営協議会 議事録

1. 学校の現状報告

教頭より

- ・ 体育館のLED化
- ・ 吹奏楽部・男子ソフトテニス部関東大会出場にともなう横断幕の設置
- ・ 体育館の鉄扉の修繕
- ・ 雨漏りの修繕→これはなかなかすすまない。
- ・ チャイムの工事の予定がある

河野より

- ・ 全国学力学習状況調査の生徒質問紙の分析
 - 勉強をよくしている。
 - 自己肯定感が低い。
 - 将来の夢・展望がない。
 - 学校に相談できる先生・大人が少ない。
 - 地域に出での活動が少ない。

校長より

- ・ 新型コロナウイルスが流行して、合唱コンクール前に、2クラス学級閉鎖があった。
- ・ 体育祭は10/25に予定通り実施した。
- ・ 行事に対してとてもよく取り組んでいた。11/1の全校朝会で生徒に伝えたい。

2. 教育活動アンケート

- ・ 保護者・生徒向けに教育活動アンケートを実施する。アンケート項目について説明をした。
 - 回収率が50%ということで、これを上げるための工夫を考える必要がある。
 - 今回から経年変化を分析することで、各学年の成果と課題が見えてくるのではないかと。
 - 自由記述の欄があったらどうか。
 - 結果このように変わったという提示の仕方が大切なのではないかと。

3. コミュニティスクールの今後、方向性について

- ・ デジタル採点システムの導入(もともと掲げていたが、市全体で導入することになった)

コミュニティスクールの今後、方向性について

- ① 海老名中学校区から1学年の職業講話を海老名中学校卒業生に依頼する。
- ② 2年生の職場体験学習の事業所の50%以上を海老名中学校区で依頼する。

③ 調理実習の支援やお琴の演奏など、授業支援者の募集

※①②に優先的に取り組んでいきたい。

※全国学力学習状況調査の結果などから、来年度に向けての目標や活動の内容を検討した。「信頼」という言葉をスローガンに掲げて学校経営を進めていきたい。

真壁さん

(全国学力学習状況調査の自分の「よさ」が見つけれない傾向から…)

- ・子どもたちは、声をかけられないと前に進めない傾向にある。先生方にはたくさん声をかけてあげてほしい。先生と子どもたちの距離が遠くなってきていると感じる。親とも仲良くやってほしい。おせっかいをたくさん焼いてほしい。

小田島さん

- ・先生たちが働きにくい環境にある。親もうるさくなってきている。先生たちがあっさり、さっぱり仕事をしている気がするのはそのためか。
- ・「おせっかい」ができないし、それを好まない家庭も出てきている。
- ・同じ学年の中に、ベテラン・中堅・若手がバランスよくいた。けど今は、若い世代の少し上の世代が少ない。伝達していく場が少ない(校長)

渡部さん

- ・子どもたちが将来の夢や展望がないという傾向から、選択を追い求めるというより、消去しているという感覚で生活している。

谷川先生

- ・業務の効率化・働き方改革が子どもを伸ばし切れていない原因なのではないか。短縮・縮小傾向も大切だが、子どもたちに役割を与えることで将来に必要なことをもっと伸ばせるのではないか。中学校での経験は大きな財産になるので、もっと活動の場を保証してあげてほしい。